

田人地区 地域おこし協力隊

10月号

ちーの山暮らし物語

栽培期間中農薬不使用畑見学

今回、田人で農薬不使用の野菜を勉強する為にMさんの畑に見学に行きました。Mさんの畑はイタリアの伝統野菜のズッキーニ、長くて硬くないオクラなど珍しい野菜を栽培しています。



畑見学をきっかけにズッキーニをいただきました。「長くて曲がって袋に入れられない変な形ですねーどんな味がするのだろう。」と最初は思いましたが、料理して食べてみたら、くせがなく、みずみずしくて柔らかくて、とても美味しいものでした。

小白井きゅうりとは、川前町小白井地区で古くから栽培されている皮がやわらかく、肉質はシャキッとして歯切れがいい在来種のきゅうりです。今年の夏、いわき伝統野菜保存会からいただいた小白井きゅうりの種をまきました。二十二粒の種をまき、六粒の芽が出てきました。

葉が柔らかくてみずみずしい幼苗にウリハムシがいっぱい寄ってきました。恐ろしいですーきゅうりを虫から守る為に、虫さんと相談しながら、きゅうりの株の周りが草ぼうぼうならないように除草しました。

天は人の努力を見捨てていないうえ、きゅうりが無事に大きくなりました。今回も、いつもお世話を一緒に作りました。しかし、真最中に強風で支柱が折れてしまい、一度直しました。

小白井きゅうりは実る数が少ないので、今年は大量生産ではなく、種を保存できるよう、自家採種しました。来年は増やしていきたいと思います！



オクラの管理の仕方は、収穫する度に下の葉を取り、下から上にどんどん収穫していきます。自家採種について、一番下のオクラを残すと、上のオクラに少し影響がありますが、完熟までの時間を考え、一番下のオクラを残すことにしたとMさんから聞きました。

自分の畑は、上のオクラに影響がないよう、上段の種を残したかった為、下のオクラを収穫してしまいましたが、完熟のオクラの種を取る為に、オクラの株の状態を見ながら、中段のオクラを残しています。質の良い種が取れるよう、オクラに愛情を注ぎ続けます！

お盆明け頃の天気は暑くて雨が降らなかつたので、水をかけても芽が三分の一位しか出ませんでした。九月の上旬に雨が降る前に残りの種をまきました。久々の恵の雨のおかげで、今回は芽が順調に出ました。雨に伴い、草も雨後の筈のようになってきました。



大根の栽培

中国語ミニ教室
今日の単語は
ラー 辣 ジャウ 椒
訳:唐辛子(とうがらし)

